

# 第5回少人数教育推進検討委員会の結果

## 1 25人学級の導入について

### ○ 委員の意見

- ・小学校1年生に25人学級の導入を優先すべき。
- ・小学校2年生から4年生までの学級編制について、今後も十分に検討すべき。
- ・小学校高学年については、国の教科担任制導入の動きを見据えて対応すべき。

## 2 アクティブクラスについて

### ○ 委員の意見

- ・制度の継続を求める意見と県の基準どおりの学級編制を求める意見があるため、これら両論を踏まえ、現場の状況を把握する中で慎重に対応すべき。

## 3 特別支援学級について

### ○ 委員の意見

- ・通常学級だけでなく、特別支援学級についても教員の加配等の措置を検討すべき。

## 4 考慮すべき課題について

### ○ 委員の意見

- ・25人学級の導入を推進する上で、現行の教員配置（加配）を減らすことなく必要な人員を確保するために、将来にわたって優秀な教員を持続的に確保する方策を進めることが必要。

## 5 その他

### ○ 委員の意見

- ・今後の少人数教育の推進に関しては、学校現場の声をよく聞き、十分に検討する中で対応すべき。

## 6 今後の予定

報告書の修正については、委員長に一任し、完成した報告書は2月上旬に教育長に提出する予定。